

令和 7 年

火災・救急・救助の概況

岡崎市消防本部

火 災 の 概 況

令和7年中の岡崎市における火災概況は出火件数84件、火災による焼損面積は建物1,633m²、林野4a、損害額は2億7,671万8千円、火災による死者は3人、負傷者は5人であった。

出火件数は、前年から5件減少しており、焼損面積のうち建物の数値は前年及び過去10年平均と比較し減少している。林野の数値は、前年と同数であり、過去10年平均と比較し減少している。損害額については前年及び過去10年平均の数値から増加している。（第1表）

【火災概況】		(第1表)				
火災種別	比 較 区 分	令 和 7 年 (A)	令 和 6 年 (B)	比 較 (A) - (B)	過去10年平均 (C)	比 較 (A) - (C)
	出火件数 (件)	84	89	△ 5	96	△ 12
	建 物 火 災	47	53	△ 6	55	△ 8
	林 野 火 灾	2	2	0	3	△ 1
	車両火災	13	10	3	12	1
	その他の火災	22	24	△ 2	26	△ 4
	焼 損 面 積	建物(m ²)	1,633	1,662	△ 29	2,216
		林野(a)	4	4	0	14
						△ 10
損 害 額 (千円)		276,718	159,317	117,401	226,389	50,329
死傷者 (人)	死 者	3	7	△ 4	3	△ 0
	負傷者	5	17	△ 12	16	△ 11

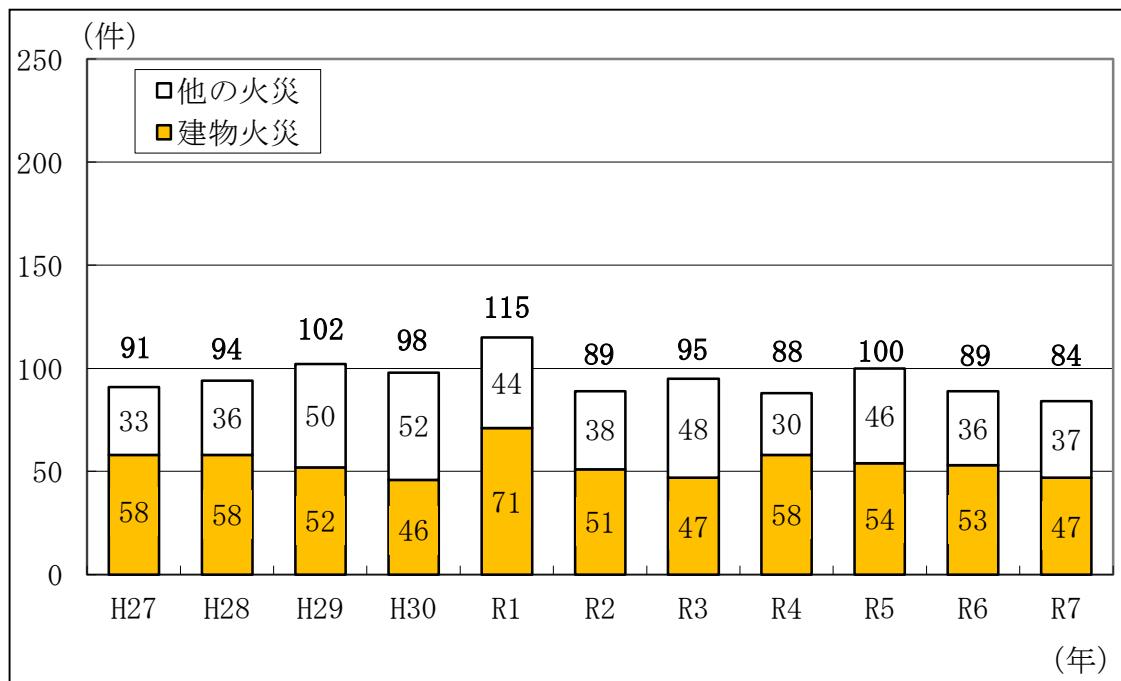
備考 △印は、減を示す。

1 出火件数

出火件数の84件を火災種別ごとにみると、建物火災が47件（56%）と最も多く、以下その他の火災が22件（26%）、車両火災が13件（15%）、林野火災が2件（2%）の順となっている。（第1表、第1図）

過去10年間の火災発生件数

（第1図）



2 損害額

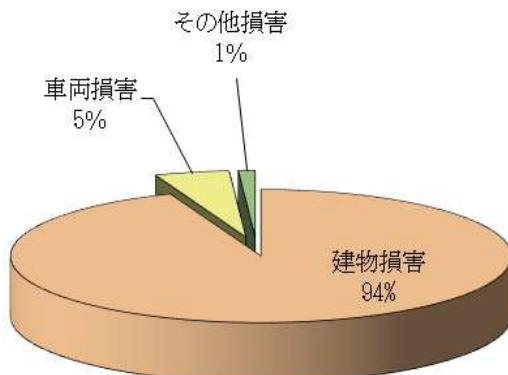
火災による損害額2億7,671万8千円の内訳をみると、最も多いのは建物損害の2億6,041万3千円で全損害の94%を占め、以下車両損害の1,333万3千円、その他損害の297万2千円の順となっている。（第2表、第2図）

損害額2億7,671万8千円は、前年の1億5,931万7千円と比較すると1億1,740万千円の増加であり、過去10年平均の2億2,638万9千円より5,032万9千円増加している。（第1表）

【損害額の内訳】 （第2表）

（第2図）

損害種別	損害額 (千円)
建物損害	260,413
車両損害	13,333
その他損害	2,972
林野損害	
合 計	276,718



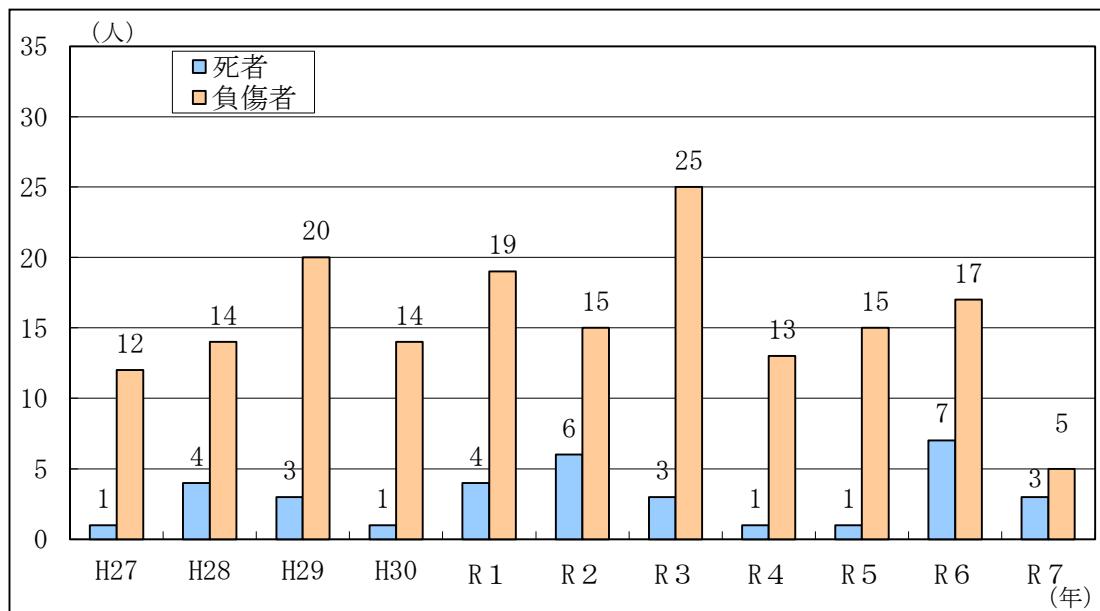
3 死者・負傷者

火災による死者は3人で、前年より4人減少しており、過去10年平均の3人と同数である。

また、火災による負傷者は5人で、前年の17人と比較すると12人減少しており、過去10年平均の16人より減少している。(第1表、第3図)

過去10年間の死者・負傷者の発生状況

(第3図)



4 出火原因

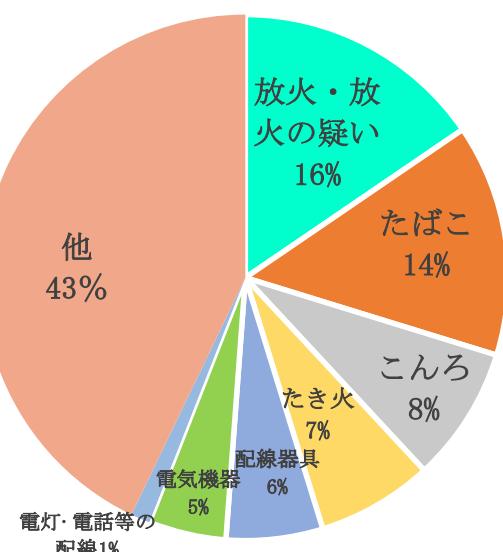
出火件数84件の主な出火原因をみると、「放火・放火の疑い」が13件(16%)と最も多く、以下「たばこ」が12件(14%)、「こんろ」が7件(8%)の順となっている。(第3表、第4図)

【主な原因別件数】

(第3表)

区分 出火原因	令和7年 (件)	令和6年 (件)	比較 (件)
放火・放火の疑い	13	17	△4
たばこ	12	12	0
こんろ	7(0)	3(0)	4
たき火	6	10	△4
配線器具	5	5	0
電気機器	4	6	△2
電灯・電話等の配線	1	3	△2
他	36	33	3
合計	84	89	△5

(第4図)



備考1 △印は、減を示す。

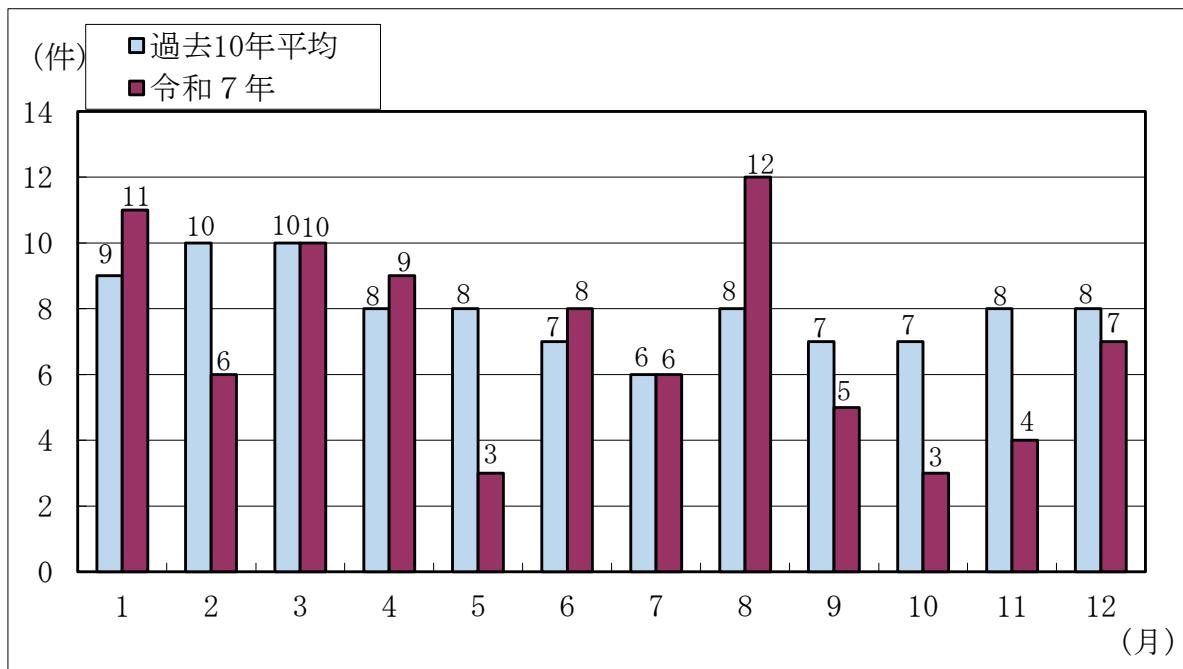
2 こんろの()内は、天ぷら油火災を示す。

5 月別出火状況

出火件数 84 件を月別にみると、8 月が 12 件（14%）と最も多く、続いて 1 月が 11 件（13%）の順となっている。（第 5 図）

月別出火件数

（第 5 図）



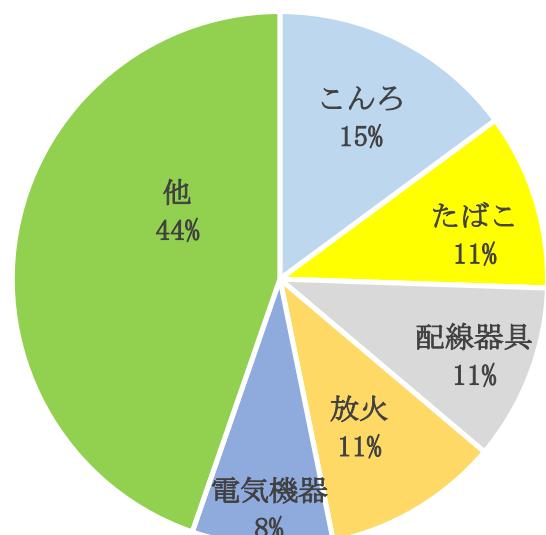
6 建物火災の状況（主な出火原因）

建物火災 47 件の主な出火原因別をみると、「こんろ」が 7 件（15%）と最も多く、以下「たばこ」、「配線器具」及び「放火」が 5 件（11%）、「電気機器」が 4 件（9%）の順となっている。（第 4 表、第 6 図）

【主な原因別件数】（第 4 表）

（第 6 図）

出火原因	出火件数(件)
こんろ	7
たばこ	5
配線器具	5
放火	5
電気機器	4
他	21
合計	47



救急の概況

令和7年中の救急出場件数は19,384件で、搬送人員は17,943人であった。前年と比較すると出場件数で180件増加し、搬送人員では212人増加している。

種別内訳では、急病が13,579件(70%)で最も多く、以下、一般負傷が2,507件(13%)、交通事故が1,074件(6%)の順となっている。増加したものは、急病、交通事故、自損行為で、それ以外は減少している。

過去10年間の平均と比較すると、急病、一般負傷、その他、自損行為は増加し、それ以外は減少している。(第1表)

【救急出場状況表】

(第1表)

区分	比較	令和7年 (A)	令和6年 (B)	比較 (A)-(B)	過去10年平均 (C)	比較 (A)-(C)
救急出場件数		19,384	19,204	180	17,026	2,359
搬送人員		17,943	17,731	212	15,712	2,231
種別内訳	火災	37	41	△ 4	43	△ 6
	自然災害	0	1	△ 1	2	△ 2
	水難	4	5	△ 1	4	△ 0
	交通事故	1,074	1,052	22	1,129	△ 55
	労働災害	158	186	△ 28	178	△ 20
	運動競技	95	101	△ 6	96	△ 1
	一般負傷	2,507	2,579	△ 72	2,222	285
	加害	27	52	△ 25	47	△ 20
	自損行為	227	167	60	182	45
	急病	13,579	13,212	367	11,593	1,986
その他		1,676	1,808	△ 132	1,530	146

備考 △印は、減を示す。

月別救急出場状況

月別救急出場件数は、1月が1,844件と最も多く5月が1,442件と最も少なかった。1か月の平均は1,615件で、1日平均53件となっており、27分に1件の割合で出場したことになる。(第2表)

搬送人員では、1月が1,703人と最も多く、5月が1,336人と最も少なかった。1か月の平均は1,495人で、1日の平均は49人となっている。(第3表)

【月別救急出場件数】

(第2表)

種別 月別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損	急病	転院搬送	医師搬送	資機材搬送	その他	合計
1月	6			76	6	10	228	2	20	1,339	143			14	1,844
2月	1			91	12	7	201		8	1,014	108	1		13	1,456
3月	3			86	10	7	206	4	15	1,016	129		1	12	1,489
4月	1		1	91	12	5	202	1	18	1,023	119			15	1,488
5月	3			76	9	6	183	4	28	1,005	107			21	1,442
6月	7			90	13	9	193		15	1,073	102			18	1,520
7月	1			100	30	13	202	3	25	1,231	120			37	1,762
8月	3			96	17	9	193	3	16	1,300	114			33	1,784
9月	3		2	60	13	11	182	1	24	1,181	90			33	1,600
10月	1			99	16	5	226	2	13	1,090	133			25	1,610
11月	4			93	8	6	258	2	18	1,105	119			22	1,635
12月	4		1	116	12	7	233	5	27	1,202	123			24	1,754
合計	37		4	1,074	158	95	2,507	27	227	13,579	1,407	1	1	267	19,384

【月別搬送人員状況表】

(第3表)

種別 月別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損	急病	転院搬送	医師搬送	資機材搬送	その他	合計
1月	2			68	6	10	210	1	17	1,246	143				1,703
2月				91	12	7	188		4	942	108				1,352
3月				75	10	7	192	4	11	943	129				1,371
4月				79	11	5	196	1	13	960	118				1,383
5月				72	9	6	169	2	23	948	107				1,336
6月				90	13	9	179		10	1,021	102				1,424
7月				95	30	14	191	3	22	1,155	120				1,630
8月				93	17	8	178	3	11	1,195	115				1,620
9月	2			55	13	10	173		19	1,110	90				1,472
10月				98	15	6	216	2	6	1,021	132				1,496
11月	1			87	8	6	248	3	15	1,036	119				1,523
12月			1	105	11	7	223	4	21	1,138	123				1,633
合計	5		1	1,008	155	95	2,363	23	172	12,715	1,406				17,943

救 助 の 概 況

令和7年中の救助出動件数は270件で、救助人員は103人であった。

前年と比較すると出動件数は42件の増加、救助人員は同数であった。

種別内訳からみると、建物等による事故が全体の約39%にあたる106件を占め、続いてその他の事故が94件（約35%）となっている。（第1表）

【救助出動状況】

（第1表）

区 分		比 較 区分	令 和 7 年 (A)	令 和 6 年 (B)	比 較 (A) - (B)	過 去 10 年 平 均 (C)	比 較 (A) - (C)
救 助 出 動 件 数			270	228	42	200	70
救 助 人 員			103	103		104	△ 1
種 别	火 建 物		8	6	2	4	4
	災 建 物 以 外					1	△ 1
内 訳	交 通 事 故		50	39	11	48	2
	水 難 事 故		3	6	△ 3	6	△ 3
風水害等自然災害事故						1	△ 1
内 訳	機 械 に よ る 事 故		2	1	1	3	△ 1
	建 物 等 に よ る 事 故		106	86	20	69	37
内 訳	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故		7	3	4	4	3
	破 裂 事 故						
内 訳	そ の 他 の 事 故		94	87	7	65	29

備考 △印は、減を示す。

月別救助出動状況

月別出動件数では、1か月の平均は約22件であり、12月が37件と最も多かった。その反面、5月は13件と最も少なかった。(第2表)

【月別救助出動状況】

(第2表)

種別 月別	火災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害 事 故	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
	建 物	建 外									
1月	2			5				8	1		3 19
2月				4			1	9			2 16
3月	2			2				8			4 16
4月				4	1			12	2		5 24
5月				2				7			4 13
6月				3				4	1		10 18
7月	1			5				13			13 32
8月				3				6	1		11 21
9月	1			2	1			10			9 23
10月				6				11	1		10 28
11月				7				7			9 23
12月	2			7	1		1	11	1		14 37
合計	8			50	3		2	106	7		94 270